

# 自治体あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
URL <http://www.jaichi.jp>  
Eメール info@jaichi.jp

2020. 3. 25  
No.1220

発行責任者 林 達也 定価10円  
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

## 第46回 東海自治体学校

日時: 5月17日 10:00 ~  
場所: 名城大学天白キャンパス



巨大な横断幕で通行人にアピール、その前ではシールアンケートも行われました=名古屋駅前 (3月12日)

## 青年大歓迎! 「遅い」を潰かし 歓迎ムードで42名全員加入!

西尾市職・新採説明会

3月5日、西尾市職は  
新規採用者の事前研修会  
後に、組合説明会を実施  
しました。  
冒頭、大塚委員長から、  
「西尾市職は999人の



大勢の先輩職員が説明会に参加し、新採職員に加入を呼びかけました。

組合員がおり、60年を超える歴史がある。「給与が低くていい」という市長や議会であれば、すぐ下がれてしまう。そ

うならないように労働組合には、組合員が説明会に参加し、新採職員に加入を呼びかけました。また、説明会には、採用1年目の先輩組合員20人が参加し、歓迎ムードを演出しました。先輩組合員は新人からの質問に丁寧に応え、参加した42名全員が加入しました。

説明会には、採用1年目の先輩組合員20人が参加し、歓迎ムードを演出しました。先輩組合員は新人からの質問に丁寧に応え、参加した42名全員が加入しました。西尾市職は4月には病院支部の説明会を予定しています。

笑顔になる職場と社会を作ろう。(Y・T)

2020年春闘は3月11日にヤマ場となる集中回答日を迎えた。多くの大企業は、巨額の内部留保を抱えながら、新型コロナウイルス感染拡大などによる景気減速への懸念などを理由に賃上げを抑え込み、昨年の水準を下る回答となりました。これを受け、愛労連と愛知春闘共闘は、12日の夜、名古屋駅前で宣传活动を行い、名古屋市

は、「新型コロナウイルスで景気がさらに冷え込む中、大企業はベア（賃上げ）ゼロか低水準。449兆円の巨額の内部留保を労働者に還元させ、賃金を上げ、景気を回復させよう」と訴えました。宣伝活動では、4トントラックを利用した

大型スクリーンに傘下組合から寄せられた「私の実現したいこと」動画が映し出されました。自治労連も動画に協力し、青年部、保育部会、各単組などから、「人員を増やせ!」「有給とりたい!」など切実な声が流れ、通り行人の注目を集めました。

また、「新型コロナによる景気後退をはね返すには」と題したシールアートが、組合員約80名が参加しました。宣伝行動では、4トントラックを利用した

# 新型コロナで冷え込む経済 大企業は内部留保吐き出せ



登壇者に向けて宣伝行動をする豊橋市職労

ルバイト男性は「日本の大企業は金をため込みすぎ! 株やAIなんかじゃなく、人」に投資しろ! と怒りながら、すべての項目にシールを貼りました。「中小企業の支援」にシールを貼った大学生は「ベンチャー企業に興味があり、就職を考えている。ほとんどがコロナかもしない、5万、いいねが10万と話題を呼んでいる。自分

がコロナかもしない、でも自分が休んだら代わりに入ってくれる職員はない、そうしたら大好きな子が怪我をしてしまった。そもそも1歳児18人を3人で見るには無理! そのツイートからは、悩みながらも、子どもたちと懸命に向き合う保育士の姿が目に浮かぶ。▼「住民のいのちと暮らしを守るために働くこと、それは私たち自治体労働者の働きがい、誇りである。しかし、そのための職場環境や施策、体制がなければ潰れてしまう。▼「労働環境が改善され、余裕を持って暮らせる社会お子さんと保護者の方は笑顔で暮らせる社会になりますように」とこの保護士さんはいう。労働環境を良くする。暮らしやすい社会は一人ではできない。みんなで力を合わせることが必要だ。それができるのは、労働組合だ。労働組合に入ろう。

道草



